

2020年1月4日（土）サンセール盛岡

「教育・学びの未来を創造するスクール・プラットフォーム岩手大会」



「教育・学びの未来を創造するスクール・プラットフォーム」は、Society5.0時代を見据えて、子どもたちが未来を生き抜く力を身に付けるため、産・学・官の力を結集し、よりよい教育にチャレンジする NPO 法人 ETIC と文部科学省若手職員有志が設立した取組です。

その理念に則り、2020年1月4日（土）サンセール盛岡にて岩手支部が活動をスタートさせました。北海道、秋田、宮城からの参加もいただき、大学学長、大学職員、教育長、校長、主任主査、小中高教諭、教育委員会指導主事、まちづくり部生涯学習文化課主任、学芸員、PTA会長、高校魅力化推進員など、様々な立場の方々と貴重な意見交流をすることができました。

<日 程>

12:45 13:00 13:10 14:20 15:50 17:00

受付	開会 行事	講 演	分 科 会	パネルディスカッシ ョン	懇 親 会
----	----------	-----	----------	-----------------	-------

<内 容>

1、講 演 「新しい時代の初等中等教育の在り方について」

講師 加治佐 哲也 氏（兵庫教育大学 学長）

※プロフィール

ご専門は学校経営、教育行政

2019年4月1日、2度目の兵庫教育大学学長就任

2019年から文部科学省第10期中央教育審議会委員・

初等中等教育分科会会長・新しい時代の初等中等教

育の在り方特別部会長・教員養成部会長

2、分科会

「学 力 向 上」コーディネーター 押田 貴久 氏（兵庫教育大学大学院 准教授）

「地域との連携」コーディネーター 日渡 円 氏（滋賀県大津市教育委員会教育長）

3、パネルディスカッション 「新しい時代の学力向上・地域との連携」

パネラー 加治佐 哲也 氏（兵庫教育大学 学長）

水 野 和 男 氏（旭川大学教授・元北海道東神楽町教育委員会教育長）

沼 田 義 孝 氏（大槌町教育委員会 教育長）

田 山 理 香 氏（北上市立北上中学校 PTA会長）

コーディネーター 日渡 円 氏 押田 貴久 氏







参加された皆さまからのご感想やご意見を紹介します。

1、感想

○新学習指導要領の実施を前にして、子どもたちに本当につけていかなければならない力について、また、そのためのカリキュラムは、どうあればよいのか、地域との連携は、といったことについて考えるよい機会となりました。この先の変化した社会を具体的に思いうかべ、これまでの常識にとらわれることなく具体的に動いていきたいと思いました。

○最新の教育事情を拝聴することができ、素晴らしい研修機会となった。分科会やパネルディスカッションも内容が濃く、刺激となった。学び続ける教員、変化に対応だけでなく、創造する教員でありたいと感じた。

○教育・教員に求められているのは、想像力・創造力だと感じた。

これまでの固定観念にとらわれず、未来をイメージし、創っていく、そして、そうした人材を育てていく重要性を感じます。学校のカタチ、これからについても考え直す機会になりました。

○お世話になりました。日ごろ、先生方の研究会とは、基礎的な知識から組み立てて、お互いの知恵を合わせていく・・・こんな風な様子なのかな・・・ということが勉強になったと同時に、今、それを私のような立場の人間が知って本当に良かったと思いました。

皆様に声をかけていただき、情報交換もでき、帰り道も、とても明るい研究会でした。兵庫県へ行ってみたいです。今、子育て中で教育に関わることができるのは本当に幸せなことです。ありがとうございました。

○講師陣がすばらしく、今年初めての研修は、すばらしく有意義でした。

○新しい時代の教育について、刺激をいただくことができた。

○未来の子どもたちのために、どんな用意や心掛けが必要か知る機会になった。参加してよ

かったと思います。

○本大会におきそいいただき、ありがとうございました。新年早々、たくさんの刺激をいただき、休みモードからのスイッチが入ったように思います。

○なぜ「学力」をつけなければならないのか。

今後、数十年見据えた時、どのような「学力」をつけなければならないのか、根本的で教育の根幹にかかわることをじっくり考えることができました。

このような機会を頂きまして、ありがとうございました。

○想像もつかない大きな変化の中で、教育のあり方を考えていくことは、非常に難しいと感じました。そして、だからこそ考え続けていかなければならないと考えさせられました。

○新しい言葉、考え方、動きを教えてくださいました。

同時に不易の大切さも思いました。

○新年を迎えたとともに、テレビやネット上で、これからの時代の激動ぶりを目の当たりにし、本日、ここでタイムリーな教育情報を得ることができよかったです。

○大学院で学んだのが20年以上前になったことに気づき、学びの姿が変わっていくことに納得がきました。

立場が異なっても「相手ファースト」で考えることができれば、新しい連携の形を探っていくことができそうです。ありがとうございました。

○教育の今後について考えることができた。学校の役割は、学び続けることが大切である限り、なくなることはないと思う。

○時代の流れに自分自身がついていけないことを実感させられました。教育の流れをしっかりと捉え、学校運営をしなければならないと感じました。

ありがとうございました。

○とても有意義な会だったと思います。いろいろな人たちとの意見交流を通じて新しいことを学ぶことができたのでよかったです。

2、運営についての要望や意見

○とても、細やかに組み上げられた内容でしたし、運営、進行も円滑でした。どの部分も興味深く参加できました。

○スムーズで、内容もすばらしかったと思います。ありがとうございました。

正月あけ、名札、看板、模造紙等の準備、すばらしかったです。

○突然の参加をお願いしたにもかかわらず、対応していただき、ありがとうございました。

○事務局長をはじめとして、少人数で運営をありがとうございました。

○やはり同窓会の方々が多かったですが、一般の教員や（教育関係の）地域の方々等、幅広く参加を募ると、分科会もより盛り上がると思いました。

○様々な立場から貴重な話を聞いたことはとてもよかったです。

○ご準備ありがとうございました。大変勉強させていただきました。

- フセンに記入する名前が気ペンを用意するといいです。
- とてもいい環境で話し合いに参加することができて、ありがとうございました。

3、次回に取り上げたいテーマ

- 先の時代、社会を見すえた教育のあり方、人間の生き方などにつながる話題。
- 教育行政についての国の動向など。
- 地域の核となる学校
- 不登校・特別支援対応
- 職員の資質向上
- 教育界の動向Ⅱ
- 教員が身に付けるべき力
- 学校の新たな「カタチ」とは
- 今回のテーマを再度深めたい
- 探究活動について
- 他国の教育に学ぶ！
- 教育・学びの未来を創造するスクール・プラットフォームの理念を理解していくためのテーマを設定していくとよいと思います。
- SDGsに子どもたち自身も地球の一市民の自覚を持たせる学び
- 日本の教育のよさ、岩手の教育のよさ、未来につながるものは？
- 今回の学力向上、地域との連携はあった方がよいと思いました。

